

地域のつながり広がる「見守り活動」



志免社協イメージキャラクター
優結（ゆうゆう）

☑見守り活動とは

一人暮らし高齢者などが、地域で安心して暮らし続ける基盤となる活動です。安否確認や課題の早期発見、早期連絡・対応、孤独感の解消などを目的としています。近所の人だからこそ「いつもと様子が違う」「最近姿を見ない」といった異変に気づくことができ、結果、孤立死の防止や早期に専門機関へつなぐことができます。また、日頃からの関係性を構築しておくことで、困ったときに相談し合える関係となり、お互いさまの地域づくりにもつながっていきます。



☑見守り活動の方法（例）

●「平時の見守り」

日常との変わりが無いか気に留めておく活動です。



日常生活を送る中で自然と知りえるご近所の方々の様子を気に留めておくことで、異変があった時に関係者や関係機関、家族などと連絡を取り合うことができ、万が一の事態を防止することができます。この活動は、平時の様子を知っているご近所の方や友人など親しい人だからこそできる活動です。

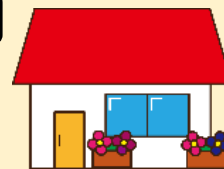
※見守り活動で気にかけてほしいポイントは裏面にまとめています。

●「訪問活動」

見守り対象者のお宅を定期的に訪問する活動です。

近況を伺う中で生活上困っていることなどを聞くことができたり、信頼関係の構築にも役立ちます。一人で不安な場合は複数の方で訪問する方法もあります。また、回覧板を活用し、特定の方は回覧板を手渡しするなど既存の活動を活用して訪問する方法もあります。

こんにちは！



●「関係者間での情報共有」

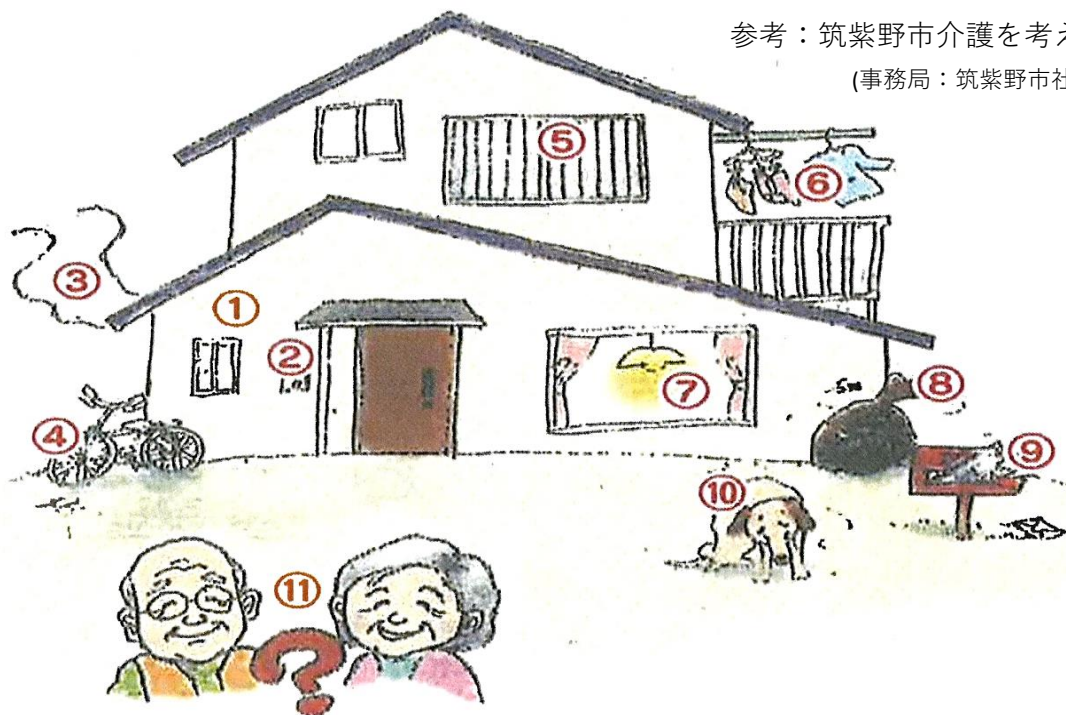
情報共有の場を設け、見守り対象者の近況を共有する取り組みです。

関係者間で対象者の状況を共有できれば、特に注意が必要な方などをより多くの目で見ることが出来たり、特定の人に負担が集中しないような体制づくりにもつながります。また、町内会の役員会や組長会議など既存の会議の中で情報共有する方法もあります。

この他にも、活動記録やマップを活用した方法等もあります。

☑見守り活動のポイント

参考：筑紫野市介護を考える家族の会
(事務局：筑紫野市社会福祉協議会)



- ①電話…全く応答がない、つながらない
- ②玄関のベル…鳴らしても応答がない
- ③異臭…家から臭いがする
- ④自転車や車…いつもは出かける時間にそのまま置いてある
- ⑤雨戸・窓・カーテン…何日も開けばなしまたは閉じっぱなし
- ⑥洗濯物…干しっぱなし
- ⑦電気…昼間につけばなしまたは夜に付いていない
- ⑧ゴミ…決まった日に出しているのに出ていない
- ⑨新聞・郵便・牛乳etc…何日もたまっている
- ⑩飼い犬…しきりに吠えている、衰弱している
- ⑪最近姿を見かけない…親しい人へ留守(旅行や入院など)の連絡もない、会社や会合に連絡もなく休んでいる、約束に必ず来る人が来ない、行きつけの店で姿を見かけない…など

☑見守り活動を行う上で…

- 活動を長く継続させていくためにも活動者の負担にならない範囲で。平時の見守りは普段の生活の中で「ついで」という感覚で行う。
- 何か異変を感じた時は、一人で判断せず誰かに相談をする。
- 見守りは「監視」ではなく、あくまでご近所による「目配り・気配り」。
- 出来る人が出来る時に出来ることをする。

この活動に多くの方が携わることで

「困った時はお互いさま」の地域づくりにつながります。

住みなれた地域での安心した暮らしを、みんなで育んでいきませんか？

